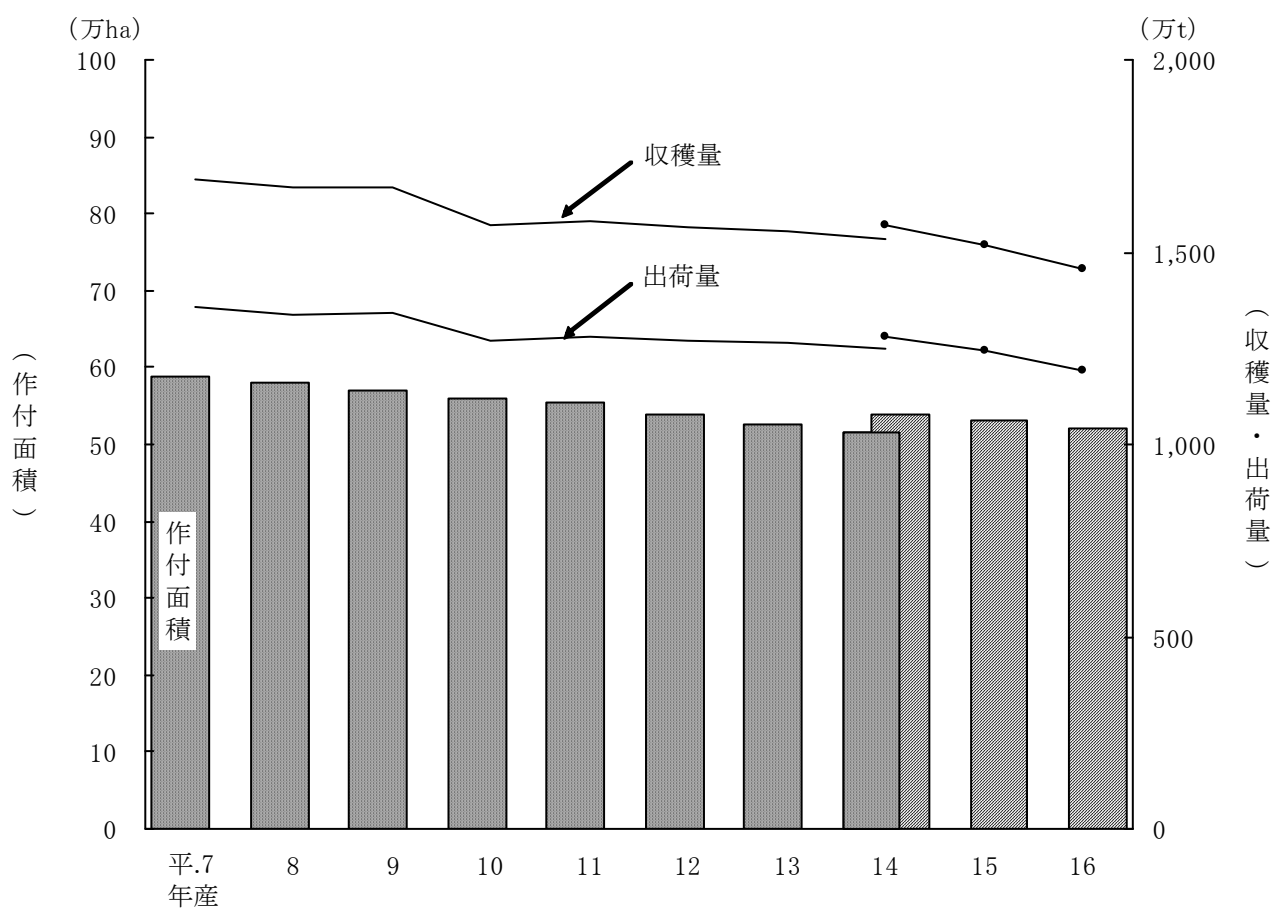


1 要 旨

平成16年産の野菜（39品目）の作付面積は51万9,400ha、収穫量は1,454万t、出荷量は1,192万2,000tであった。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量




注) 平成14年産から葉茎菜類8品目（こまつな、ちんげんさい、ふき、みつば、アスパラガス、しゅんぎく、にら及びにんにく）、果菜類（そらまめ）、香辛野菜（しょうが）を新たに追加し、39品目となったため、図中、平成14年産については29品目で過去8年間と同様に表し、平成14年産以降、39品目計の作付面積を「」、収穫量及び出荷量を「・」で表した。

表1 平成16年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり 収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考) 平均収 量比
					作付面積	10a当たり 収	収穫量	出荷量	
計	519 400	-	14 540 000	11 922 000	...	-	-
根 菜 類	190 300	-	5 906 000	4 722 000	...	-	-
だいこん	40 000	4 050	1 620 000	1 241 000	96	96	92	93	98
かぶ	5 710	2 940	167 800	132 200
にんじん	19 500	3 150	615 700	532 600	96	97	93	92	101
ごぼう	9 240	1 860	171 500	140 800
れんこん	4 210	1 440	60 700	49 100
ばれいしょ (じゃがいも)	87 200	3 310	2 888 000	2 357 000	99	100	98	98	103
さといも	15 800	1 170	184 800	110 100	96	92	88	88	95
やまのいも	8 640	2 290	197 900	159 200
葉 茎 菜 類	181 100	-	5 054 000	4 239 000	...	-	-
はくさい	20 200	4 390	887 600	673 300	98	94	92	93	94
こまつな	5 510	1 570	86 600	71 200
キャベツ	33 300	3 850	1 279 000	1 100 000	97	96	93	93	96
ちんげんさい	2 320	2 030	47 100	39 800
ほうれんそう	23 800	1 210	288 700	231 900	98	94	93	92	94
ふき	867	2 110	18 300	14 700
みつば	1 330	1 420	18 800	17 600
しゅんぎく	2 580	1 600	41 200	32 600
セルリー	715	5 040	36 100	34 100
アスパラガス	6 480	450	29 100	25 200
カリフラワー	1 460	1 610	23 500	18 400
ブロッコリー	10 000	931	93 500	80 000
レタ	21 800	2 340	509 300	473 200	99	94	93	93	93
ねぎ	23 500	2 070	485 500	375 100	99	95	94	95	97
にら	2 180	2 830	61 600	54 400
たまねぎ	23 100	4 890	1 128 000	985 500	98	98	96	96	102
にんにく	1 920	1 000	19 300	11 500
果 菜 類	114 100	-	2 641 000	2 142 000	...	-	-
きゅうり	13 700	4 900	673 000	566 100	97	101	98	99	99
かぼち	16 800	1 340	225 500	168 100
なす	11 700	3 330	390 200	290 400	98	101	99	99	96
トマト	13 100	5 780	754 900	665 900	99	100	99	100	99
ピーマン	3 680	4 160	153 400	130 800	98	103	101	102	104
スイートコーン	26 900	988	265 600	204 500
さやいんげん	7 660	691	52 900	32 800
さやえんどう	4 730	605	28 600	17 600
そらまめ	2 770	842	23 300	16 700
えだまめ	13 100	561	73 300	48 900
香 辛 野 菜									
しょうが	1 900	2 020	38 400	26 700
果 実 的 野 菜	32 000	-	900 800	792 400	...	-	-
いちご	7 000	2 830	198 200	179 500
メロン	11 100	2 240	248 600	226 100
すいか	13 900	3 260	454 000	386 800

注： 全国の前年産対比が「…」となっている品目は、前年産の全国値について、主産県調査の結果から前回の全国調査実施年（平成9年産）の結果を基に推計したものである。このため、本年産と前年産の全国値の前年比較については、「…」とした。（以下の統計表について同じ。）

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は4万haで、前年産に比べて1,500ha(4%)減少した。これは、夏だいこんで他の野菜への転換等があったことによる。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,050kgで、前年産を4%下回った。これは、秋冬だいこんが台風の影響等により生育が抑制されたことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は162万tで、前年産に比べて13万2,000t(8%)減少した。

出荷量は124万1,000tで、前年産に比べて9万3,000t(7%)減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春だいこんの作付面積は5,150haで、前年産に比べて120ha(2%)減少した。これは、青森県で他の野菜への転換、宮城県、熊本県等で労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は4,840kgで、前年産を2%上回った。この結果、収穫量は24万9,500t、出荷量は21万8,900tで、それぞれ前年産並みであった。

(イ) 夏だいこんの作付面積は8,030haで、前年産に比べて500ha(6%)減少した。これは、北海道、青森県等で他の野菜への転換や労働力事情による規模縮小があったためである。10a当たり収量は3,460kgで、前年産並みであった。この結果、収穫量は27万8,000tで、前年産に比べて1万7,400t(6%)減少し、出荷量は24万5,500tで、前年産に比べて1万6,100t(6%)減少した。

(ウ) 秋冬だいこんの作付面積は2万6,800haで、前年産に比べて900ha(3%)減少した。これは、青森県等で他の野菜への転換や労働力事情による規模縮小があったためである。10a当たり収量は4,080kgで、前年産を7%下回った。これは、台風の影響等により生育が抑制されたためである。この結果、収穫量は109万2,000tで、前年産に比べて11万6,000t(10%)減少し、出荷量は77万6,800tで、前年産に比べて7万7,200t(9%)減少した。

図2 だいこんの作付面積及び収穫量の推移

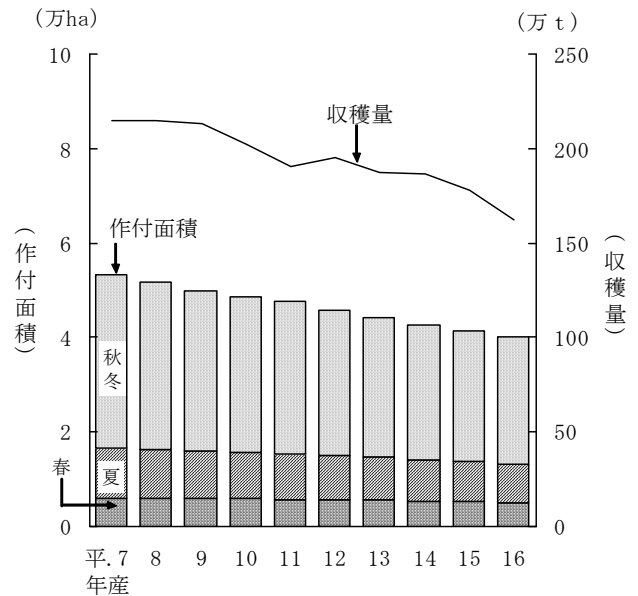


表2 平成16年産だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
だいこん	ha	kg	t	t					%
	40 000	4 050	1 620 000	1 241 000	96	96	92	93	98
春	5 150	4 840	249 500	218 900	98	102	100	100	103
夏	8 030	3 460	278 000	245 500	94	100	94	94	105
秋冬	26 800	4 080	1 092 000	776 800	97	93	90	91	95

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万9,500haで、前年産に比べて800ha(4%)減少した。これは、秋にんじんにおいて他の野菜への転換等、冬にんじんにおいて、は種期の台風の影響により作付け出来なかったこと等による。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,150kgで、前年産を3%下回った。これは、冬にんじんが台風の影響により生育が抑制されたことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は61万5,700tで、前年産に比べて4万3,200t(7%)減少した。

出荷量は53万2,600tで、前年産に比べて4万3,800t(8%)減少した。

エ 季節区分別の概況

- (ア) 春夏にんじんの作付面積は4,360haで、前年産並みであった。10a当たり収量は3,600kgで、前年産を1%上回った。この結果、収穫量は15万7,100tで、前年産に比べて1,400t(1%)増加し、出荷量は14万800tで、前年産に比べて1,300t(1%)増加した。
- (イ) 秋にんじんの作付面積は6,680haで、前年産に比べて430ha(6%)減少した。これは、北海道、青森県等で他の野菜への転換や労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は3,240kgで、前年産を8%上回った。これは、生育期間がおおむね天候に恵まれたためである。この結果、収穫量は21万6,400tで、前年産に比べて2,800t(1%)増加し、出荷量は18万8,100tで、前年産に比べて2,500t(1%)減少した。
- (ウ) 冬にんじんの作付面積は8,490haで、前年産に比べて310ha(4%)減少した。これは、鹿児島県等で、は種期の台風の影響により作付け出来なかったためである。10a当たり収量は2,850kgで、前年産を13%下回った。これは、千葉県、宮崎県等で台風の影響等により生育が抑制されたためである。この結果、収穫量は24万2,100tで、前年産に比べて4万7,400t(16%)減少し、出荷量は20万3,700tで、前年産に比べて4万2,600t(17%)減少した。

図3 にんじんの作付面積及び収穫量の推移

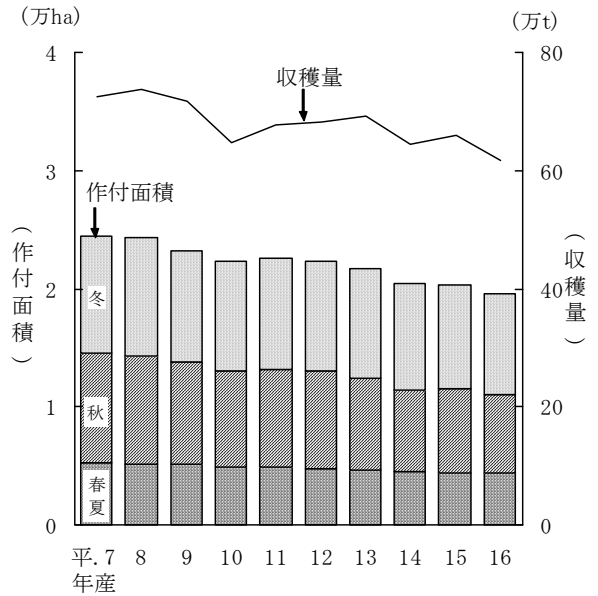


表3 平成16年産にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
にんじん	ha	kg	t	t					%
	19 500	3 150	615 700	532 600	96	97	93	92	101
春夏	4 360	3 600	157 100	140 800	100	101	101	101	103
秋	6 680	3 240	216 400	188 100	94	108	101	99	116
冬	8 490	2 850	242 100	203 700	96	87	84	83	91

(3) ばれいしょ (じゃがいも)

ア 作付面積

作付面積は8万7,200haで、前年産に比べて1,100ha (1%) 減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,310kgで、前年産並みであった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は288万8,000tで、前年産に比べて5万1,000t (2%) 減少した。

出荷量は235万7,000tで、前年産に比べて4万4,000t (2%) 減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春植えばれいしょの作付面積は8万4,200haで、前年産に比べて1,100ha (1%) 減少した。10a 当たり収量は3,380kgで、前年産を1%下回った。この結果、収穫量は284万2,000tで、前年産に比べて5万4,000t (2%) 減少し、出荷量は232万6,000tで、前年産に比べて4万8,000t (2%) 減少した。

(イ) 秋植えばれいしょの作付面積は2,960haで、前年産に比べて40ha (1%) 減少した。10a 当たり収量は1,540kgで、前年産を7%上回った。これは、長崎県、鹿児島県で台風の影響により初期生育が抑制されたものの、11月以降天候に恵まれ肥大が順調になったためである。この結果、収穫量は4万5,500tで、前年産に比べて2,500t (6%) 増加し、出荷量は3万1,100tで、前年産に比べて3,200t (12%) 増加した。

図4 ばれいしょ (じゃがいも) の作付面積及び収穫量の推移

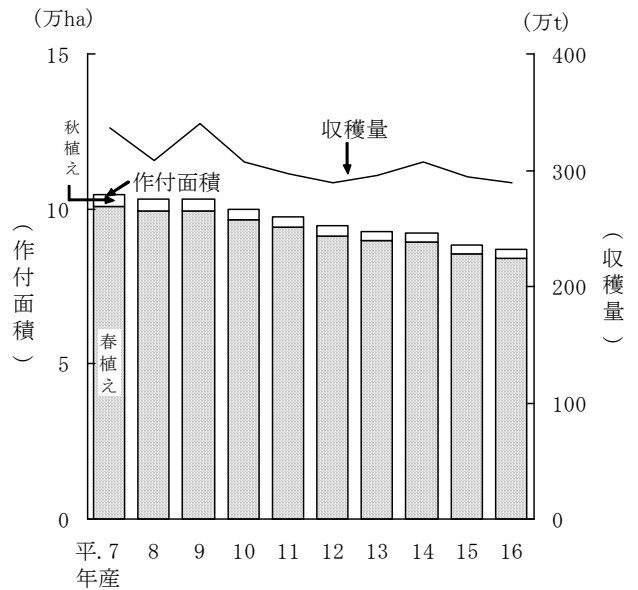


表4 平成16年産ばれいしょ(じゃがいも)の作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ばれいしょ (じゃがいも)	ha	kg	t	t					%
	87 200	3 310	2 888 000	2 357 000	99	100	98	98	103
春植え	84 200	3 380	2 842 000	2 326 000	99	99	98	98	103
秋植え	2 960	1 540	45 500	31 100	99	107	106	112	98

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万5,800haで、前年産に比べて600ha(4%)減少した。これは、秋冬さといもで労働力事情による規模縮小等があったことによる。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,170kgで、前年産を8%下回った。これは、秋冬さといもが6月から8月の高温・少雨や台風の影響により生育が抑制されたことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は18万4,800tで、前年産に比べて2万4,600t(12%)減少した。

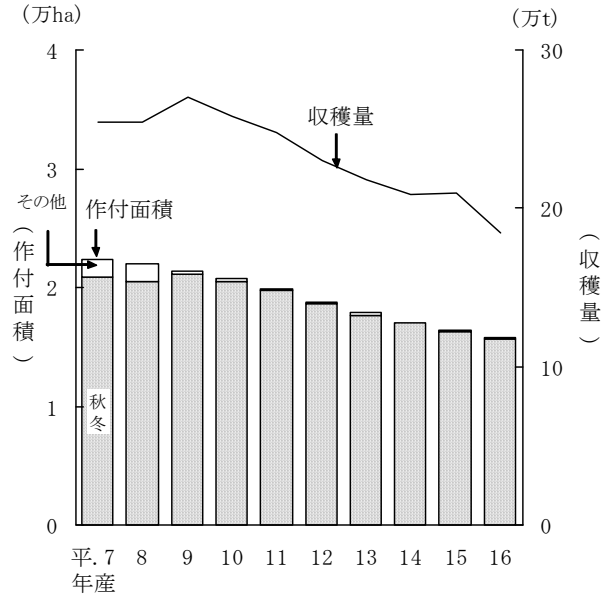
出荷量は11万100tで、前年産に比べて1万4,700t(12%)減少した。

エ 季節区分別の概況

秋冬さといもの作付面積は1万5,700ha

で、前年産に比べて600ha(4%)減少した。これは、千葉県等で労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は1,170kgで、前年産を8%下回った。これは、千葉県等で6月から8月の高温・少雨や宮崎県等で台風の影響等により生育が抑制されたためである。この結果、収穫量は18万4,500tで、前年産に比べて2万4,500t(12%)減少し、出荷量は10万9,900tで、前年産に比べて1万4,600t(12%)減少した。

図5 さといもの作付面積及び収穫量の推移



注: 平成9年産から野菜生産出荷安定法施行令の一部改正に伴い、主たる出荷期間を秋冬さといもは8月~3月を6月~3月、その他さといもは4月~7月を4月~5月に変更した。

表5 平成16年産さといもの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
さといも	ha	kg	t	t					%
	15 800	1 170	184 800	110 100	96	92	88	88	95
うち、秋冬	15 700	1 170	184 500	109 900	96	92	88	88	95

(5) はくさい

ア 作付面積

作付面積は2万200haで、前年産に比べて500ha（2%）減少した。これは、秋冬はくさいで労働力事情による規模縮小等があったことによる。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,390kgで、前年産を6%下回った。これは、秋冬はくさいが台風の影響により生育が抑制されたことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は88万7,600tで、前年産に比べて7万6,900t（8%）減少した。

出荷量は67万3,300tで、前年産に比べて5万4,200t（7%）減少した。

エ 季節区分別の概況

- (ア) 春はくさいの作付面積は2,050haで、前年産に比べて40ha（2%）減少した。これは、茨城県等で労働力事情による規模縮小等があったためである。10a 当たり収量は5,830kgで、前年産並みであった。この結果、収穫量は11万9,300tで、前年産に比べて2,200t（2%）減少し、出荷量は10万6,500tで、前年産に比べて2,100t（2%）減少した。
- (イ) 夏はくさいの作付面積は3,090haで、前年産に比べて50ha（1%）減少した。10a 当たり収量は5,910kgで、前年産を2%上回った。これは、長野県で病害の発生が少なく前年産を上回ったためである。この結果、収穫量は18万2,700t、出荷量は16万1,800tで、それぞれ前年産並みであった。
- (ウ) 秋冬はくさいの作付面積は1万5,100haで、前年産に比べて300ha（2%）減少した。これは、茨城県等で労働力事情による規模縮小があったためである。10a 当たり収量は3,880kgで、前年産を10%下回った。これは、台風の影響等により生育が抑制されたためである。この結果、収穫量は58万5,500tで、前年産に比べて7万5,100t（11%）減少し、出荷量は40万5,000tで、前年産に比べて5万1,500t（11%）減少した。

図6 はくさいの作付面積及び収穫量の推移

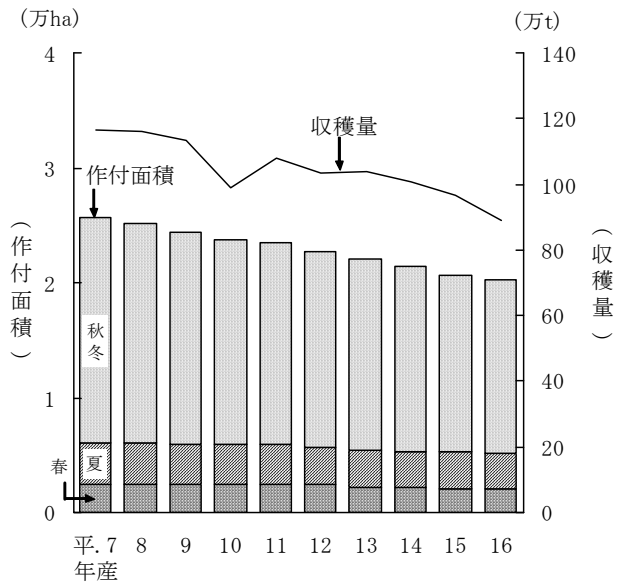


表6 平成16年産はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
は く さ い	ha	kg	t	t					%
春	2 050	5 830	119 300	106 500	98	100	98	98	102
夏	3 090	5 910	182 700	161 800	99	102	100	100	102
秋 冬	15 100	3 880	585 500	405 000	98	90	89	89	91

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万3,300haで、前年産に比べて1,100ha(3%)減少した。これは、他の野菜への転換や台風の影響により作付けが出来なかったこと等による。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,850kgで、前年産を4%下回った。これは、冬キャベツで台風の影響を受けたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は127万9,000tで、前年産に比べて9万7,000t(7%)減少した。

出荷量は110万tで、前年産に比べて7万9,000t(7%)減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春キャベツの作付面積は8,830haで、前年産に比べて70ha(1%)減少した。10a当たり収量は4,020kgで、前年産を2%上回った。これは、千葉県等でおおむね天候に恵まれ肥大が促進されたためである。この結果、収穫量は35万4,800tで、前年産に比べて3,600t(1%)増加し、出荷量は30万2,500tで、前年産に比べて3,300t(1%)増加した。

(イ) 夏秋キャベツの作付面積は1万700haで、前年産に比べて400ha(4%)減少した。これは、北海道、長野県で他の野菜への転換、熊本県で労働力事情による規模縮小や相次ぐ台風による種の遅れから冬キャベツへの移行があったためである。10a当たり収量は4,000kgで、前年産に比べて1%下回った。この結果、収穫量は42万8,700tで、前年産に比べて2万1,900t(5%)減少し、出荷量は37万2,100tで、前年産に比べて2万300t(5%)減少した。

(ウ) 冬キャベツの作付面積は1万3,700haで、前年産に比べて600ha(4%)減少した。これは、愛知県、福岡県等で定植期の台風の影響による作付中止や、他の野菜への転換等があったためである。10a当たり収量は3,610kgで、前年産を10%下回った。これは、台風の影響による葉の損傷から生育が抑制されたためである。この結果、収穫量は49万5,600tで、前年産に比べて7万8,800t(14%)減少し、出荷量は42万5,600tで、前年産に比べて6万1,400t(13%)減少した。

図7 キャベツの作付面積及び収穫量の推移

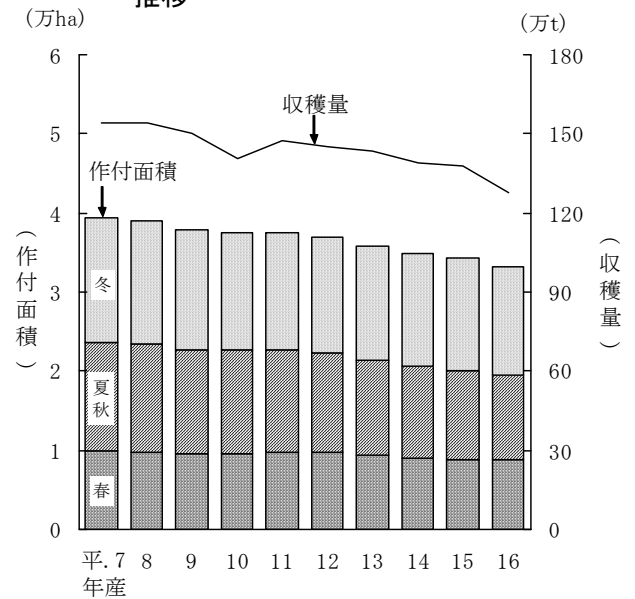


表7 平成16年産キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
キャベツ	ha	kg	t	t					%
春	8 830	4 020	354 800	302 500	99	102	101	101	101
夏秋	10 700	4 000	428 700	372 100	96	99	95	95	99
冬	13 700	3 610	495 600	425 600	96	90	86	87	90

(7) ほうれんそう

ア 作付面積

作付面積は2万3,800haで、前年産に比べて500ha(2%)減少した。これは、労働力事情による規模縮小や他の野菜への転換があったことによる。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,210kgで、前年産を6%下回った。これは、秋どりが長雨や台風の影響により生育が抑制されたことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は28万8,700tで、前年産に比べて2万3,100t(7%)減少した。

出荷量は23万1,900tで、前年産に比べて1万9,100t(8%)増加した。

図8 ほうれんそうの作付面積及び収穫量の推移

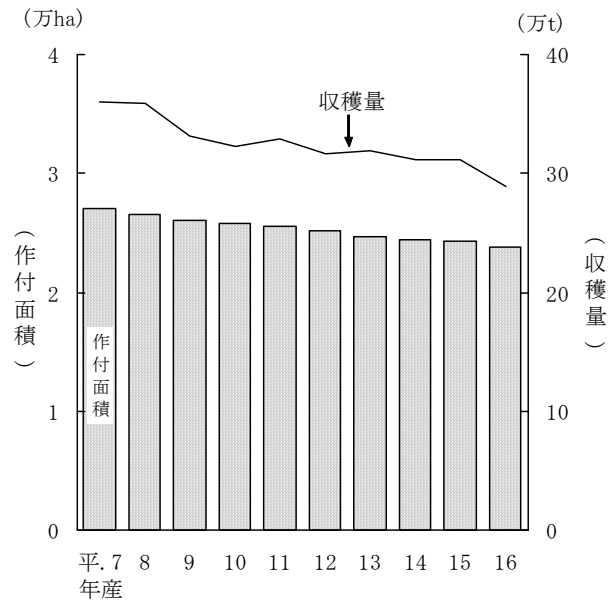


表8 平成16年産ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ほうれんそう	ha	kg	t	t					%
	23 800	1 210	288 700	231 900	98	94	93	92	94

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万1,800haで、前年産に比べて200ha（1%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,340kgで、前年産を6%下回った。これは、冬レタスで台風の影響等により生育が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は50万9,300tで、前年産に比べて3万9,300t（7%）減少した。

出荷量は47万3,200tで、前年産に比べて3万4,800t（7%）減少した。

エ 季節区別の概況

(ア) 春レタスの作付面積は4,450haで、前

年産に比べて50ha（1%）減少した。10a当たり収量は2,700kgで、前年産を2%下回った。これは、茨城県で1月から3月上旬の少雨により肥大が抑制されたことによる。この結果、収穫量は11万9,800tで、前年産に比べて3,500t（3%）減少し、出荷量は11万tで、前年産に比べて2,900t（3%）減少した。

(イ) 夏秋レタスの作付面積は9,060haで、前年産並みであった。10a当たり収量は2,550kgで、前

年産を1%下回った。この結果、収穫量は23万1,200tで、前年産に比べて2,900t（1%）減少し、出荷量は21万8,700tで、前年産に比べて1,900t（1%）減少した。

(ウ) 冬レタスの作付面積は8,280haで、前年産に比べて220ha（3%）減少した。これは、茨城県

等で夏秋レタスへの転換や労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は1,910kgで、前年産を15%下回った。これは、台風の影響等により生育が抑制されたことによる。この結果、収穫量は15万8,300tで、前年産に比べて3万2,900t（17%）減少し、出荷量は14万4,500tで、前年産に比べて3万t（17%）減少した。

図9 レタスの作付面積及び収穫量の推移

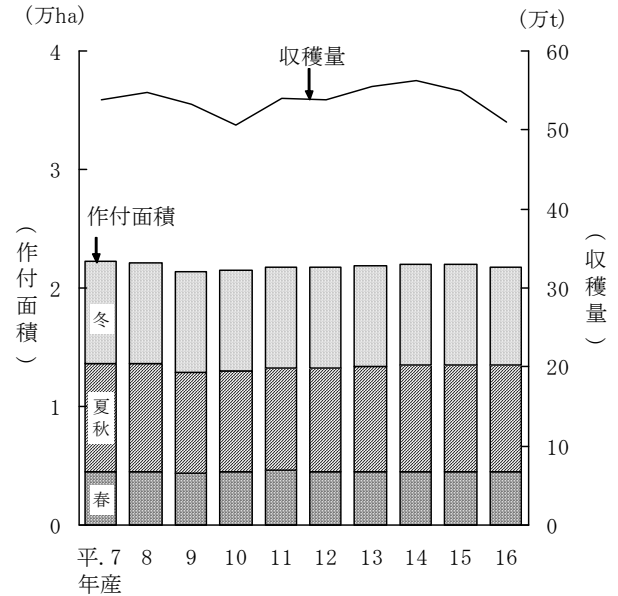


表9 平成16年産レタスの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
レ タ ス	ha	kg	t	t					%
	21 800	2 340	509 300	473 200	99	94	93	93	93
春	4 450	2 700	119 800	110 000	99	98	97	97	100
夏 秋	9 060	2 550	231 200	218 700	100	99	99	99	97
冬	8 280	1 910	158 300	144 500	97	85	83	83	85

(9) ねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万3,500haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,070kgで、前年産を5%下回った。これは、秋冬ねぎが台風の影響により生育が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

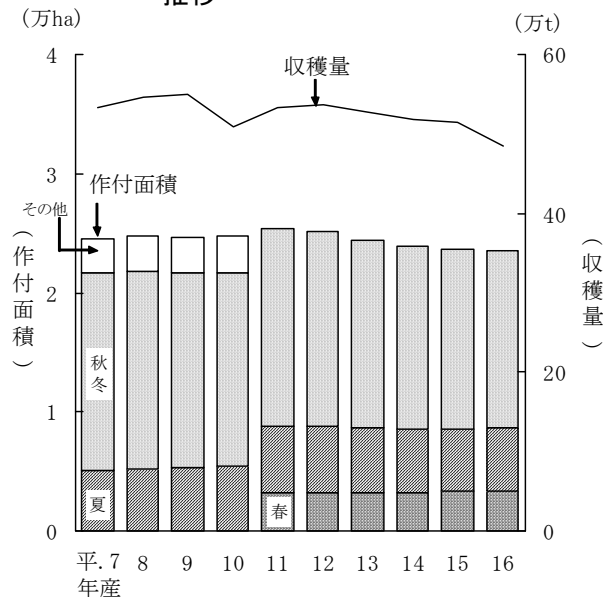
収穫量は48万5,500tで、前年産に比べて2万9,100t(6%)減少した。

出荷量は37万5,100tで、前年産に比べて2万1,600t(5%)減少した。

エ 季節区分別の概況

- (ア) 春ねぎの作付面積は3,360haで、前年産に比べて50ha(1%)増加した。10a当たり収量は2,540kgで、前年産を1%上回った。この結果、収穫量は8万5,200tで、前年産に比べて1,700t(2%)増加し、出荷量は7万3,600tで、前年産に比べて1,300t(2%)増加した。
- (イ) 夏ねぎの作付面積は5,310haで、前年産並みであった。10a当たり収量は1,910kgで、前年産を5%下回った。これは、茨城県で6月下旬から8月上旬の高温・少雨による生育抑制や病害の発生があったこと、北海道で7月中旬から8月上旬の高温による生育の抑制や相次ぐ台風による茎葉の折損があったためである。この結果、収穫量は10万1,200tで、前年産に比べて5,000t(5%)減少し、出荷量は8万6,000tで、前年産に比べて4,400t(5%)減少した。
- (ウ) 秋冬ねぎの作付面積は1万4,800haで、前年産に比べて200ha(2%)減少した。これは、埼玉県等で労働力事情による規模縮小や他の野菜への転換等があったためである。10a当たり収量は2,020kgで、前年産を6%下回った。これは、台風の影響による葉の損傷等がみられ生育が抑制されたためである。この結果、収穫量は29万9,100tで、前年産に比べて2万5,800t(8%)減少し、出荷量は21万5,500tで、前年産に比べて1万8,600t(8%)減少した。

図10 ねぎの作付面積及び収穫量の推移



注：春ねぎは、野菜生産出荷安定法施行令（昭和41年政令第224号）の一部改正により平成11年産から新たに調査対象となった。

表10 平成16年産ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ねぎ	ha	kg	t	t					%
	23 500	2 070	485 500	375 100	99	95	94	95	97
春	3 360	2 540	85 200	73 600	101	101	102	102	100
夏	5 310	1 910	101 200	86 000	100	95	95	95	96
秋冬	14 800	2 020	299 100	215 500	98	94	92	92	95

(10) たまねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万3,100haで、前年産に比べて400ha（2%）減少した。これは、北海道でばれいしょ等の他の野菜への転換や労働力事情による規模縮小等があったこと、佐賀県で、は種後の9月下旬の高温・乾燥により苗立ちが悪く苗が不足したことによる。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,890kgで、前年産を2%下回った。これは、北海道で作柄の良かった前年産を3%下回ったこと、兵庫県で収穫前の5月中旬の日照不足及び多雨による病害が発生したことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は112万8,000tで、前年産に比べて4万4,000t（4%）減少した。

出荷量は98万5,500tで、前年産に比べて3万9,500t（4%）減少した。

図11 たまねぎの作付面積及び収穫量の推移

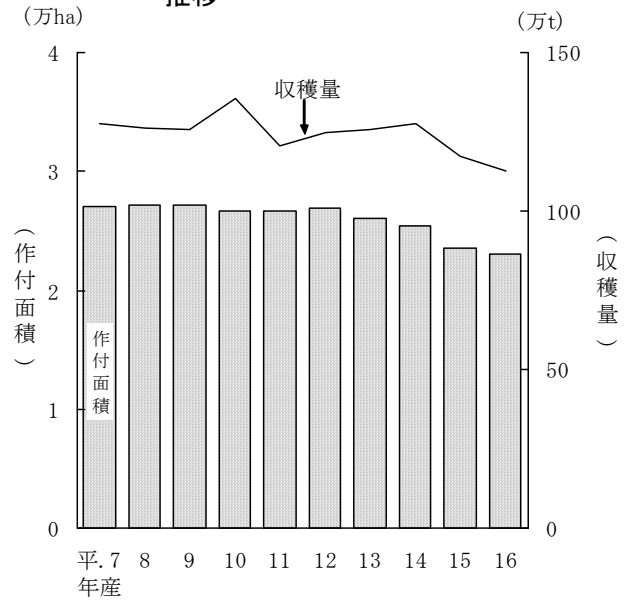


表11 平成16年産たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
たまねぎ	ha 23 100	kg 4 890	t 1 128 000	t 985 500	98	98	96	96	% 102

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万3,700haで、前年産に比べて400ha(3%)減少した。これは、労働力事情による規模縮小等があったためである。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,900kgで、前年産を1%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は67万3,000tで、前年産に比べて1万1,100t(2%)減少した。

出荷量は56万6,100tで、前年産に比べて6,100t(1%)減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春きゅうりの作付面積は3,570ha

で、前年産に比べて70ha(2%)減少した。これは、埼玉県等で労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は1万kgで、前年産を3%上回った。これは、宮崎県等でおおむね天候に恵まれ着果数が多く、果実の肥大も促進されたためである。この結果、収穫量は35万7,700tで、前年産に比べて4,800t(1%)増加し、出荷量は33万1,500tで、前年産に比べて5,500t(2%)増加した。

(イ) 夏秋きゅうりの作付面積は1万200haで、前年産に比べて300ha(3%)減少した。これは、茨城県で加工用契約の中止、群馬県で労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は3,100kgで、前年産を2%下回った。これは、群馬県で9月下旬から10月中旬の日照不足により果実の肥大が抑制されたこと、北海道で台風第18号による茎葉や果実の損傷があったためである。この結果、収穫量は31万5,300tで、前年産に比べて1万5,800(5%)減少し、出荷量は23万4,600tで、前年産に比べて1万1,600t(5%)減少した。

図12 きゅうりの作付面積及び収穫量の推移

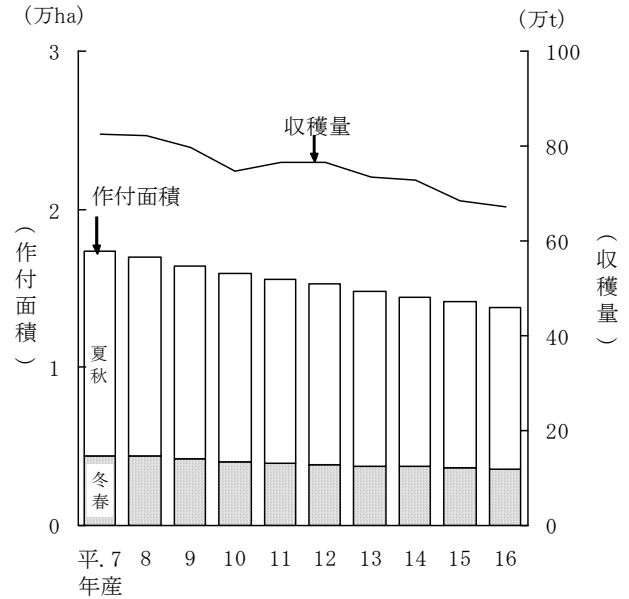


表12 平成16年産きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
き ゅ う り	ha	kg	t	t					%
	13 700	4 900	673 000	566 100	97	101	98	99	99
冬 春	3 570	10 000	357 700	331 500	98	103	101	102	103
夏 秋	10 200	3 100	315 300	234 600	97	98	95	95	95

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は1万1,700haで、前年産に比べて300ha(2%)減少した。これは、労働力事情による規模縮小等があったためである。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,330kgで、前年産を1%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は39万200tで、前年産に比べて5,600t(1%)減少した。

出荷量は29万400tで、前年産に比べて2,300t(1%)減少した。

エ 季節区分別の概況

(7) 冬春なすの作付面積は1,450haで、前

年産に比べて20ha(1%)減少した。10a当たり収量は1万200kgで、前年産を3%上回った。これは、高知県で10月から11月の日照不足により着果数が少なく前年産を下回ったものの、熊本県等でおおむね天候に恵まれ着果数が増加したためである。この結果、収穫量は14万8,100tで、前年産に比べて2,200t(2%)増加し、出荷量は13万9,200tで、前年産に比べて1,900t(1%)増加した。

(イ) 夏秋なすの作付面積は1万300haで、前年産に比べて300ha(3%)減少した。これは、茨城県等

で労働力事情による規模縮小等があったためである。10a当たり収量は2,350kgで、前年産を1%下回った。この結果、収穫量は24万2,000tで、前年産に比べて7,900(3%)減少し、出荷量は15万1,200tで、前年産に比べて4,300t(3%)減少した。

図13 なすの作付面積及び収穫量の推移

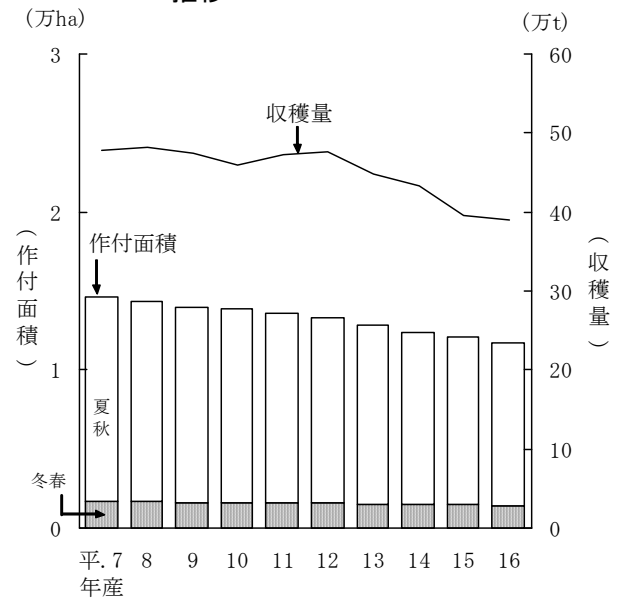


表13 平成16年産なすの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
な す	ha	kg	t	t					%
	11 700	3 330	390 200	290 400	98	101	99	99	96
冬 春	1 450	10 200	148 100	139 200	99	103	102	101	100
夏 秋	10 300	2 350	242 000	151 200	97	99	97	97	93

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万3,100haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,780kgで、前年産並みであった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は75万4,900tで、前年産に比べて5,000t（1%）減少した。

出荷量は66万5,900tで、前年産並みであった。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春トマトの作付面積は4,180haで、前年産並みであった。10a当たり収量は9,350kgで、前年産を2%上回った。こ

これは、栃木県等でおおむね天候に恵まれ着果数が増加し、果実の肥大も促進されたためである。この結果、収穫量は39万600tで、前年産に比べて7,000t（2%）増加し、出荷量は36万5,900tで、前年産に比べて6,800t（2%）増加した。

(イ) 夏秋トマトの作付面積は8,890haで、前年産に比べて140ha（1%）減少した。10a当たり収量は4,100kgで、前年産を2%下回った。これは、北海道で6月下旬から8月上旬の高温により小玉傾向となったことや、台風第18号による茎葉や果実の損傷があったこと、茨城県で6月下旬から8月上旬の高温・少雨の影響により病害が発生したこと等による。この結果、収穫量は36万4,400tで、前年産に比べて1万1,900t（3%）減少し、出荷量は30万100tで、前年産に比べて9,700t（3%）減少した。

図14 トマトの作付面積及び収穫量の推移

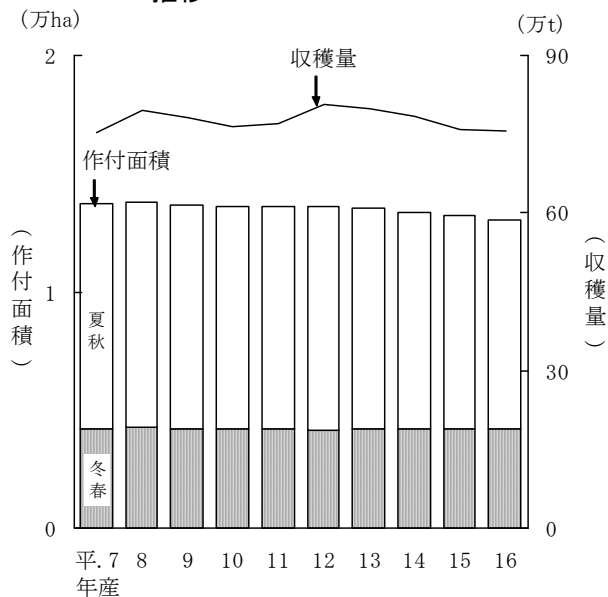


表14 平成16年産トマトの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
トマト	ha	kg	t	t					%
	13 100	5 780	754 900	665 900	99	100	99	100	99
冬春	4 180	9 350	390 600	365 900	100	102	102	102	101
夏秋	8 890	4 100	364 400	300 100	99	98	97	97	96

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,680haで、前年産に比べて80ha（2%）減少した。これは、他の作物への転換、労働力事情による規模縮小等があったことによる。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,160kgで、前年産を3%上回った。これは、おおむね天候に恵まれ着果数が増加し、果実の肥大も促進されたことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は15万3,400tで、前年産に比べて1,900t（1%）増加した。

出荷量は13万800tで、前年産に比べて2,000t（2%）増加した。

エ 季節区別の概況

- (ア) 冬春ピーマンの作付面積は831haで、前年産に比べて10ha（1%）減少した。10a 当たり収量は9,760kgで、前年産を6%上回った。これは、宮崎県等でおおむね天候に恵まれ、着果数が増加し果実の肥大も促進されたためである。この結果、収穫量は8万1,100tで、前年産に比べて4,000t（5%）増加し、出荷量は7万6,500tで、前年産に比べて3,700t（5%）増加した。
- (イ) 夏秋ピーマンの作付面積は2,850haで、前年産に比べて70ha（2%）減少した。これは、北海道で他の作物への転換、労働力事情による規模縮小等があったためである。10a 当たり収量は2,540kgで、前年産並みであった。この結果、収穫量は7万2,300tで、前年産に比べて2,100t（3%）減少し、出荷量は5万4,400tで、前年産に比べて1,600t（3%）減少した。

図15 ピーマンの作付面積及び収穫量の推移

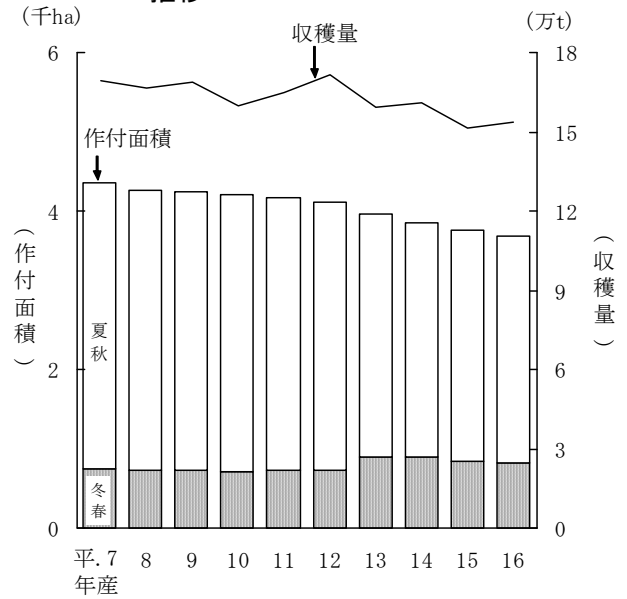


表15 平成16年産ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ピーマン	ha	kg	t	t					%
	3 680	4 160	153 400	130 800	98	103	101	102	104
冬 春	831	9 760	81 100	76 500	99	106	105	105	102
夏 秋	2 850	2 540	72 300	54 400	98	100	97	97	96